

## 大会経費V3(バージョン3)について

- ・平成29年5月31日  
大会の役割(経費)分担に関する基本的な方向について合意
- ・平成29年12月22日  
大会経費V2公表
- ・平成30年12月21日  
大会経費V3 公表

# 1 経費分担試算 (V3)

	組織委員会	東京都	国	合計
<b>会場関係</b>	1,800 億円 (400 億円)	4,900 億円 (200 億円)	1,400 億円 (200 億円)	8,100 億円 (800 億円)
恒久施設	—	2,250 億円	1,200 億円	3,450 億円
仮設等	950 億円	2,100 億円	} 200 億円	} 4,650 億円
エネルギー	150 億円	250 億円		
テクノロジー	700 億円	300 億円		
<b>大会関係</b>	4,200 億円 (200 億円)	1,100 億円 (100 億円)	100 億円 (100 億円)	5,400 億円 (400 億円)
輸送	350 億円	250 億円	} 100 億円	} 5,400 億円
セキュリティ	200 億円	750 億円		
オペレーション	1,050 億円	100 億円		
管理・広報	650 億円	0 億円		
マーケティング	1,250 億円	0 億円		
その他	700 億円	0 億円		
<b>計</b>	6,000 億円 (600 億円)	6,000 億円 (300 億円)	1,500 億円 (300 億円)	13,500 億円 (1,200 億円)

(注1)このほかに予備費1,000億円～3,000億円がある。

これにより、予期せずに発生し得る、緊急に対応すべき事態等に対処する。

(注2)()は、うちパラリンピック経費分である。

## 2 経費増減（V2とV3との比較）

（単位：億円）

区分	V2	V3	増減	主な増(+)	主な減(▲)
会場関係	8,100	8,100	-		
恒久施設	3,450	3,450	-	-	-
仮設等	3,150	3,150	-	-	-
エネルギー	450	450	-	-	-
テクノロジー	1,050	1,050	-	-	-
大会関係	5,400	5,400	-		
輸送	500	600	+100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリート関係費用の増</li> <li>・バス関係費用の増</li> <li>・輸送センター費用の増</li> </ul>	-
セキュリティ	1,000	1,000	-	-	-
オペレーション	1,150	1,200	+50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品安全対策の費用の増</li> <li>・馬等の輸送費用の増</li> <li>・関係者の入出国対応の費用の増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手村の備品の仕様・数量などの見直しによる減</li> </ul>
管理・広報	600	650	+50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通費・倉庫等のボランティア関係費用の増</li> <li>・ユニフォーム関連費用の増</li> </ul>	-
マーケティング	1,250	1,250	-	-	-
その他	900	700	▲200	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・V2時にどのFAの経費か未整理だったものの整理が進み、V3で共通経費から各「項目」に振り替えたことによる減</li> <li>・関係者からの要望の具体化、新たな需要などに対応するために計画的に計上していた調整費の減</li> </ul>
計	13,500	13,500	-		

### 3 経費分担試算（V2とV3との比較）

※〈 〉書の増減はV2との比較

	V3				〔参考〕V2			
	組織委員会	東京都	国	合計	組織委員会	東京都	国	合計
会場関係	1,800億円 (400億円) 〈―〉	4,900億円 〈―〉 (200億円) 〈―〉	1,400億円 〈―〉 (200億円) 〈―〉	8,100億円 〈―〉 (800億円) 〈―〉	1,800億円 (400億円)	4,900億円 (200億円)	1,400億円 (200億円)	8,100億円 (800億円)
恒久施設	― 〈―〉	2,250億円 〈―〉	1,200億円 〈―〉	3,450億円 〈―〉	―	2,250億円	1,200億円	3,450億円
仮設等	950億円 〈―〉	2,100億円 〈―〉	200億円 〈―〉	4,650億円 〈―〉	950億円	2,100億円	200億円	4,650億円
エネルギー	150億円 〈―〉	250億円 〈―〉			150億円	250億円		
テクノロジー	700億円 〈―〉	300億円 〈―〉			700億円	300億円		
大会関係	4,200億円 (200億円) 〈―〉	1,100億円 〈―〉 (100億円) 〈―〉	100億円 〈―〉 (100億円) 〈―〉	5,400億円 〈―〉 (400億円) 〈―〉	4,200億円 (200億円)	1,100億円 (100億円)	100億円 (100億円)	5,400億円 (400億円)
輸送	350億円 〈+100〉	250億円 〈―〉	100億円 〈―〉	5,400億円 〈―〉	250億円	250億円	100億円	5,400億円
セキュリティ	200億円 〈―〉	750億円 〈―〉			200億円	750億円		
オペレーション	1,050億円 〈+50〉	100億円 〈―〉			1,000億円	100億円		
管理・広報	650億円 〈+50〉	0億円 〈―〉			600億円	0億円		
マーケティング	1,250億円 〈―〉	0億円 〈―〉			1,250億円	0億円		
その他	700億円 〈▲200〉	0億円 〈―〉	900億円	0億円				
計	6,000億円 (600億円) 〈―〉	6,000億円 〈―〉 (300億円) 〈―〉	1,500億円 〈―〉 (300億円) 〈―〉	13,500億円 〈―〉 (1,200億円) 〈―〉	6,000億円 (600億円)	6,000億円 (300億円)	1,500億円 (300億円)	13,500億円 (1,200億円)

(注1)このほかに予備費1,000億円～3,000億円がある。

これにより、予期せず発生し得る、緊急に対応すべき事態等に対処する。

(注2)()は、うちパラリンピック経費分である。

参考 1 組織委員会及びその他の経費（V3、ハード・ソフト別）

	組織委員会	その他	計
<b>ハード（会場整備）</b>	1,100 億円	5,950 億円	7,050 億円
恒久施設	—	3,450 億円	3,450 億円
仮設等	950 億円	2,200 億円	3,150 億円
エネルギー	150 億円	300 億円	450 億円
<b>ソフト（大会運営）</b>	4,900 億円	1,550 億円	6,450 億円
輸送	350 億円	250 億円	600 億円
セキュリティ	200 億円	800 億円	1,000 億円
テクノロジー	700 億円	350 億円	1,050 億円
オペレーション	1,050 億円	150 億円	1,200 億円
管理・広報	650 億円	0 億円	650 億円
マーケティング	1,250 億円	0 億円	1,250 億円
その他	700 億円	0 億円	700 億円
<b>計</b>	6,000 億円	7,500 億円	13,500 億円

(注)このほかに予備費1,000億円～3,000億円がある。  
これにより、予期せず発生し得る、緊急に対応すべき事態等に対処する。

参考2 組織委員会及びその他の経費（V2とV3との比較、ハード・ソフト別）

※ 〈 〉 書の増減はV2との比較

	V3						〔参考〕V2		
	組織委員会		その他		計		組織委員会	その他	計
ハード（会場整備）	1,100億円	〈—〉	5,950億円	〈—〉	7,050億円	〈—〉	1,100億円	5,950億円	7,050億円
恒久施設	—	〈—〉	3,450億円	〈—〉	3,450億円	〈—〉	—	3,450億円	3,450億円
仮設等	950億円	〈—〉	2,200億円	〈—〉	3,150億円	〈—〉	950億円	2,200億円	3,150億円
エネルギー	150億円	〈—〉	300億円	〈—〉	450億円	〈—〉	150億円	300億円	450億円
ソフト（大会運営）	4,900億円	〈—〉	1,550億円	〈—〉	6,450億円	〈—〉	4,900億円	1,550億円	6,450億円
輸送	350億円	〈+100〉	250億円	〈—〉	600億円	〈+100〉	250億円	250億円	500億円
セキュリティ	200億円	〈—〉	800億円	〈—〉	1,000億円	〈—〉	200億円	800億円	1,000億円
テクノロジー	700億円	〈—〉	350億円	〈—〉	1,050億円	〈—〉	700億円	350億円	1,050億円
オペレーション	1,050億円	〈+50〉	150億円	〈—〉	1,200億円	〈+50〉	1,000億円	150億円	1,150億円
管理・広報	650億円	〈+50〉	0億円	〈—〉	650億円	〈+50〉	600億円	0億円	600億円
マーケティング	1,250億円	〈—〉	0億円	〈—〉	1,250億円	〈—〉	1,250億円	0億円	1,250億円
その他	700億円	〈▲200〉	0億円	〈—〉	700億円	〈▲200〉	900億円	0億円	900億円
計	6,000億円	〈—〉	7,500億円	〈—〉	13,500億円	〈—〉	6,000億円	7,500億円	13,500億円

（注）このほかに予備費1,000億円～3,000億円がある。

これにより、予期せずに発生し得る、緊急に対応すべき事態等に対処する。

### 参考3 組織委員会予算（V3）

#### 収 入

項 目	金 額
IOC負担金	850 億円
TOPスポンサー	560 億円
国内スポンサー	3,200 億円
ライセンスング	140 億円
チケット売上	820 億円
その他	330 億円
増収見込	100 億円
<b>計</b>	<b>6,000 億円</b>

#### 支 出（ハード・ソフト別）

項 目	金 額
ハード（会場整備）	1,100 億円
仮設等	950 億円
エネルギー	150 億円
ソフト（大会運営）	4,900 億円
輸送	350 億円
セキュリティ	200 億円
テクノロジー	700 億円
オペレーション	1,050 億円
管理・広報	650 億円
マーケティング	1,250 億円
その他	350 億円
調整費	350 億円
<b>計</b>	<b>6,000 億円</b>

### 参考 4 組織委員会予算（V2とV3との比較）

※ 〈 〉 書の増減はV2との比較

#### 収 入

項 目	V 3		[参考] V 2
IOC負担金	850 億円	〈一〉	850 億円
TOPスポンサー	560 億円	〈一〉	560 億円
国内スポンサー	3,200 億円	〈+100〉	3,100 億円
ライセンスング	140 億円	〈一〉	140 億円
チケット売上	820 億円	〈一〉	820 億円
その他	330 億円	〈一〉	330 億円
増収見込	100 億円	〈▲100〉	200 億円
<b>計</b>	<b>6,000 億円</b>	<b>〈一〉</b>	<b>6,000 億円</b>

#### 支 出（ハード・ソフト別）

項 目	V 3		[参考] V 2
ハード（会場整備）	1,100 億円	〈一〉	1,100 億円
仮設等	950 億円	〈一〉	950 億円
エネルギー	150 億円	〈一〉	150 億円
ソフト（大会運営）	4,900 億円	〈一〉	4,900 億円
輸送	350 億円	〈+100〉	250 億円
セキュリティ	200 億円	〈一〉	200 億円
テクノロジー	700 億円	〈一〉	700 億円
オペレーション	1,050 億円	〈+50〉	1,000 億円
管理・広報	650 億円	〈+50〉	600 億円
マーケティング	1,250 億円	〈一〉	1,250 億円
その他	350 億円	〈▲50〉	400 億円
調整費	350 億円	〈▲150〉	500 億円
<b>計</b>	<b>6,000 億円</b>	<b>〈一〉</b>	<b>6,000 億円</b>



## 参考5 今後の検討課題

### 共通事項

- IOCから資料提供された過去大会実績を踏まえた見直し
- 会場毎のサービス水準の見直し、会場・競技毎の予算管理
- テストイベントの適正規模での実施、得られた知見の本大会への反映
- 暑さ対策・集中豪雨・台風対策の検討・具体化
- 多様な人材の適正配置
- 各種備品の単価見直し・共有化
- ペーパーレス化
- ラストマイルにおける観客誘導・周辺警備
- 調達面での効率化

### ハード(会場整備)

- CVE(※)を踏まえ、実施設計において仕様を更に簡素化
- 会場借上期間の短縮化
- 会場内のオーバーレイ受電設備に係る設計の効率化

### ソフト(大会運営)

- 放送用映像回線の利用率・整備費の低減
- 競技会場に敷設するネットワーク、AVシステム、携帯電話、各種IT機器の調達価格・数量の精査
- 大会時の輸送サービスにおける行政が担う業務との整理
- 輸送計画の具体化における効率化
- 大会関係者の動向分析を踏まえた車両台数・ドライバー所要人数の精査
- 大会時の警備サービスに係る行政が担う業務との関係の整理
- 警備計画の具体化における効率化
- 食品の安全対策
- 画像診断の医療機器の効率化等
- 各種ユニフォームの効率化
- 開閉会式の演出体制決定による演出の検討・具体化

※ CVE…コンディション&バリューエンジニアリングの略。整備の前提となる条件を含んだバリューエンジニアリングのこと。